



# 社協だより

福祉ネットワーク

令和3年  
11月25日発行  
第191号

発行■社会福祉法人遠賀町社会福祉協議会 ☎(293)0430 印刷■株式会社ペイジ



10月26日～30日の5日間、

ぐっぴいはハロウィン企画を開催！

小さな白雪姫やマヨネーズな坊や

たちが、ハロウィンダンスやおもちゃ

作りを楽しみました！



# ぐっぴいママに聞きました！ “ウイズコロナ”の前と後で子育て生活は変わりましたか？

☆産後の気分転換や相談場所がなくて困った。  
(女性20代 子3才と0才)

☆他のママ友との交流が減った。  
なるべく一人で子どもをみている。  
(女性20代 子1才)

☆旦那が家にいる時間が増えて、  
育児に関わってくれるようになった。  
(女性30代 子3才)

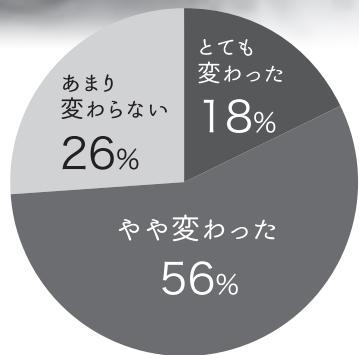
☆家でテレビやケータイを見ることが増えた。  
(女性30代 子3才と0才)

☆お出かけに行けず、親子ともにストレスが溜まったと思う。  
とくに乳幼児連れだと友達とも会いにくい…。  
(女性30代 子4才と1才)

☆赤ちゃんが集まって遊ぶ環境が少ない。  
家で過ごすことが多くなった。(女性30代 子0才)

☆外に出られる年齢になったのに、  
サロンが近くに無くて困った。  
(女性20代 子2才と0才)

☆色々な教室が中止になって、  
情報をもらえる手段が減った。  
(女性30代 子0才)



令和3年10月26日～30日の間に、  
ぐっぴいを利用した39名を対象に質問  
「新型コロナの流行によって、あなたの  
子育て生活は変わりましたか？」



地域子育て支援ひろば「ぐっぴい」  
丸谷美香(保育士/社会福祉士)

## ぐっぴい担当職員の声

新しい生活様式が始まり約2年が経ちます。最近、私が驚いたのは、ぐっぴいを利用する子どもたちが、自分から消毒をするようになっていることです。マスクをつけた大人を怖がる子も減りました。ウイズコロナが子どもたちの日常になっているのだと思います。

利用者さんとの会話やアンケート結果からもわかるのですが、親同士の交流が減り、ストレスを抱える方がとても多いですね。

それでも、ぐっぴいには利用者同士で交流を深め合ういつもの光景がありますから、誰かとお話ししたいと思ったら、気軽に遊びに来てください。

また、アンケートで「あまり変わらない」と答えてくれた方の中には、そもそも第1子誕生からコロナ禍で、家にいることが多いのが当たり前の親子もいると思います。そういう人たちにも、これからもっと、ぐっぴいで色々なふれあいを体験してほしいと思います。

## 地域子育て支援ひろば「ぐっぴい」

- 対 象：未就学児を育てる保護者と子
- 日 時：火曜日～土曜日 10:00～15:00
- 場 所：遠賀町浅木二丁目31番1号 ふれあいの里内
- 問い合わせ：☎293-1919 ぐっぴい直通

※毎週水曜日は赤ちゃんの日(1才未満限定)

1才以上のお子様をお連れの方は、中央公民館で開かれる「おでかけぐっぴい」をご利用ください。(毎週水曜日10:00～15:00)

子育て相談の日あります！  
(原則:第1火曜日 第4水曜日)

12月は7日(火) & 22日(水)

12/14(火)～18(土)  
クリスマスウィーク開催(予約制)  
予約受付中！



この社協だよりは、共同募金の配分金によって作成されたものです！



# 遠賀町身体障がい者福祉協議会とJR九州 遠賀川駅に関する意見交換会

10/2(土)

## 意見交流会のきっかけと意義



遠賀町身体障がい者福祉協議会  
会長 大塚 洋さん

「遠賀川駅を障がいのある方に優しい駅にリニューアルしましたので、ぜひ感想を聞かせてください。」

JR九州さんが、福岡県身体障がい者福祉協議会に声をかけてくれたのが意見交換会のきっかけです。私たち身体障がい者の意見が、少しでも役立つならばと、すぐに快諾しました。

障がい者をはじめ、多様な人が暮らすのが当たり前の社会です。遠賀川駅が、誰にも優しい、福岡県で一番の駅になればとの想いで、意見交換会では、会員一人ひとりが自分自身の言葉で、実際に駅を利用して気づいたことや日頃の思いを語りました。

また当日は、遠賀川駅だけでなく、他の駅の社員さんにも多く出席いただき、私たちの意見が、今後つくられる様々な駅の一助にもなっていることを感じました。JR九州の皆さん、貴重な機会をいただき、感謝申し上げます。

## 実際に、 遠賀川駅を体験してみた！

意見交換会の後、JR社員の方たちと遠賀川駅を訪ねました。実際にやって、体感することで、誰でも使いやすいよう工夫されている箇所がわかり、交流会で出されたアイデアや改善点の意図もより明確になりました。

建物のバリアフリーを活かすためには、まわりの人たちの理解と協力も大切です。多種多様な人たちが共に暮らすこの町で、みんなが笑顔でいられるように、あなたの助け合いの心をぜひ行動で表現してみてください。



遠賀町身体障がい者福祉協議会  
会員 佐々木慶一郎さん



## どこが変わった？ 遠賀川駅 使いやすさを検証

1\_車いすに乗っている人でも買いやすいように設置された券売機。実際に、普段から車いすに乗っている佐々木さんが、その使いやすさを体験しています。  
2\_改札を入って右手すぐにあるお手洗い。こちらもバリアフリー等、障がいのある方に優しい設計がされています。写真は、視覚に障がいのある方が利用する時に、お手伝いが必要なところはないか等を確認している様子です。



この社協だよりは、共同募金の配分金によって作成されたものです！



## ライフレスキー & フードドライブ活動報告

### 困りごと相談室と連携した支援を

前号でお伝えしたとおり、遠賀町社会福祉協議会は、ふくおかライフレスキー事業を展開中です。経済的な課題をはじめ、様々な問題を抱えた方の自立を支援します。今回は、本事業を行う上で、欠かせない仲間を紹介します。それは、グリーンコープさんが設置する困りごと相談室です。

2015 年度に生活困窮者自立支援制度が施行されたが、グリーンコープさんは、その中の家計改善支援事業を県から受託されています。

先月も、困りごと相談室と連携し、支援対象の方に食料品を提供することができました。このとき提供した食料品は、フードドライブで皆様からお寄せいただいたものです。これからも、様々な人や取組みと連携し、支え合いの好循環による自立支援を目指します。

(令和3年9月17日)  
11月5日受付  
次の方々から本会にご寄付を  
いただきました。  
故人のご冥福を心からお祈り  
するとともに、ご厚志に深く感謝  
申し上げます。

故 井上 節美 様	故 (浅木) 井上 智幸 様
故 川崎 康介 様	故 (松の本) 吉村 智介 様
故 (別府) 井口 富子 様	故 山崎マス子 様
故 信子 様	故 渡山崎 和子 様
故 伸生 様	故 山崎伸生 様
故 満 様	故 和子 様
故 満 様	故 康介 様

\*寄付者様に記載いただいた  
とおりに掲載しています。

香  
典  
返  
し



この社協だよりは、共同募金の配分金によって作成されたものです！



## その功労に感謝を込めて —地域福祉の推進に尽力された3名を表彰—

遠賀町社会福祉協議会は、この度、10年以上にわたり遠賀町の地域福祉の推進に寄与いただいた3名の方に表彰状を贈呈いたしました。例年、福祉まつりで行っていた表彰ですが、コロナ禍のため、まつり自体が中止となり、今回は、会長の井口富佐子が、個別に表彰を行いました。表彰された3名に改めてお礼申し上げます。いつも遠賀町の地域福祉推進に尽力いただき、ありがとうございます。

【令和3年度社会福祉協議会会員加入状況】 令和3年11月1日現在

行政区	令和3年 3月31日現在 世帯数	加入戸数			納入金額 (単位:円)
		贊助	一般	計	
島 津	34	0	19	19	9,500
若 松	122	0	100	100	50,000
鬼 津	588	14	222	236	125,000
尾 崎	404	0	234	234	117,000
田園北	434	0	219	219	109,550
田園南	572	0	280	280	140,000
松の本	815	3	289	292	147,500
別 府	757	3	355	358	180,500
今古賀	639	0	121	121	60,500
遠賀川	278	8	123	131	69,500
旧 停	149	1	83	84	42,500
新 町	402	0	297	297	148,500
中 央	196	5	92	97	51,000
広 渡	539	26	184	210	118,000
木 守	449	0	287	287	143,500
上別府	304	0	247	247	123,500
若葉台	62	0	47	47	23,500
東和苑	437	0	363	363	181,500
浅 木	509	0	377	377	188,500
老 良	86	4	63	67	35,500
虫生津	189	0	109	109	54,500
緑ヶ丘	182	0	127	127	63,500
芙蓉	251	0	133	133	66,500
町 外	15	0	15	15	7,500
合 計	8,413	64	4,386	4,450	2,257,050

※町外は、墓地清掃管理サービス事業の利用者です。

## 一般会費・賛助会費 2,257,050円

地域住民の皆様、今年も本会会費にご協力いただき、まことにありがとうございます。  
今年度は総額2,257,050円（昨年度…2,286,890円）の净財を賜りました。  
この貴重な財源を活用し、福祉ネットワーク推進委員会への支援をはじめとする地域活動の促進に努めてまいります。

寄付金や募金と毎日の買い物で使うお金の違いは何でしょうか。色々な考えがあると思いますが、その一つに、お

今年も皆様の温かいご支援ありがとうございました。今後も本会をどうぞよろしくお願ひいたします。

金のものに意志が込められていることがあります。意志あるお金、それが寄付金や募金です。この会費がきっと地域の役に立ちますようにと、私たち社会福祉協議会は、その願いを背負っています。この想いに応えるためにも、社会福祉協議会は、コロナ禍でも地域を諦めません。



この社協だよりは、共同募金の配分金によって作成されたものです！

# わたしからあなたへ つなぐメッセージ

# 福 来 た る

《第4回》



## 「人が集まる場所」

今井  
芳子さん

〔えがお食堂ボランティア〕

美味しい、楽しい！のため  
に、えがお食堂はある気が  
しています。

「子ども食堂」という看板  
を掲げるとすぐに貧困と結  
びつけてしまいがちですが、  
えがお食堂はただ普通の、  
当たり前に来られる食堂で  
あります。ただし、こ  
れに貧困は、えがお食堂が  
解決したい重要な課題だ  
けど、それだけを目指して  
たんじやダメだと思うんです。  
それに私は、子どもだけ  
じゃなくて、地域の高齢者も、  
働き世代も、みんなが気軽に  
集う場としてえがお食堂  
があればいいなと思っています。  
子ども食堂ではなく、地域  
食堂なんです。みんなでおい  
しいご飯を食べれば、少なく

「写真は恥ずかしいわ。」本人たっての希望で今回は似顔絵をご紹介(どうしても素顔が見たい人は是非えがお食堂へ!)。今井さんが勤める障がい者支援センターの利用者さんが描いた1枚。優しい表情と気さくさが表れた素敵な絵ですね。今井さん愛されてるな~。

美味しい、楽しい！のため  
に、えがお食堂はある気が  
しています。

「子ども食堂」という看板  
を掲げるとすぐに貧困と結  
びつけてしまいがちですが、  
えがお食堂はただ普通の、  
当たり前に来られる食堂で  
あります。ただし、こ  
れに貧困は、えがお食堂が  
解決したい重要な課題だ  
けど、それだけを目指して  
たんじやダメだと思うんです。  
それに私は、子どもだけ  
じゃなくて、地域の高齢者も、  
働き世代も、みんなが気軽に  
集う場としてえがお食堂  
があればいいなと思っています。  
子ども食堂ではなく、地域  
食堂なんです。みんなでおい  
しいご飯を食べれば、少なく

ともその時だけは、心の中  
から貧困なんて、出ていくと  
思いませんか。

それから、ボランティアを  
やっていて学んだことだけれ  
ど、自分がしてあげているつ  
もりでも、逆に教えてもらっ  
ていることって、けつこうたく  
さんあるんです。だから、こ  
れからも多くの人と出会って  
色々なことを教えてほしいと  
思います。

想いのある場所には人が  
集まってくれる。この一年で  
改めて学んだことです。これ  
からも想いを絶やさず、みんな  
に支えられながら、活動を  
続けていきたいと思います。

▼次は、織田茂彰さん=遠賀  
町老人クラブ連合会事務局長  
〔にバトンをつなぎます。〕

## えがお食堂

- 日 時:毎週火曜日(第5週は休み)  
16:00~18:00
- 場 所:遠賀町遠賀川二丁目20番4号
- 費 用:子ども100円 大人300円  
(お持ち帰りは、  
子ども150円 大人350円)
- 問い合わせ:NPO法人つどい事務局  
☎090-7472-8697(今井)



えがお食堂は11月3日に1周年を迎えることができました! ここまで来られたのは、たくさんの人の応援のおかげです。町内の色々な企業、地域住民の皆さん、町や社会福祉協議会の職員さんなどが、力を貸してくれたから、コロナ禍でも休まずにやってこられました。もちろん、ボランティアスタッフのみんなにも感謝しています。本当にありがとうございます! これからも、えがお食堂をよろしくお願いします!! (NPO法人つどい代表 松井 力)

遠賀町でボランティア等の地域福祉に尽力する方々の  
活動メッセージを紹介します。

第4回は、NPO法人つどいの運営する、町内で初めての子ども食堂『えがお食堂』のボランティアスタッフであり、遠賀手話の会の一員として様々な講演会の手話通訳も務めている今井芳子さんからの活動メッセージです。